

いい匂い!?! それって健康に大丈夫? -香害のお話し-

今テレビなどで、女優さんを起用した香りつき柔軟剤などのコマーシャルが頻繁に流れています。実際に購入して使用されている人も多いでしょう。自分が着ている衣装からいい匂いがすると幸せな気持ちになりますよね。

ただ、注意が必要なのは、実はこの匂いの成分が人工的に合成された人工化合物であり、私たちの健康にも害を及ぼす有害物質であることです。



2019年に香り被害に取り組む市民団体が行ったアンケート調査によると、3ヶ月間で9000人以上が回答し、回答者の8割である7000人以上の人が香りつき製品のニオイで、頭痛や吐き気などの健康被害を訴えていることが分かりました。

被害があると回答しているのは85%が女性で、特に30歳代の若い人の被害が多く、その症状としては、頭痛、吐き気、思考力の低下、咳、疲労感、めまいなどが挙げられています。原因となった家庭用製品としては、柔軟剤、香りつき合成洗剤、香水、除菌・消臭剤、制汗剤などですが、柔軟剤の被害が最も多くなっていました。被害を受けた場所は、乗り物の中、お店、公共施設、隣の家の洗濯物、職場などが上がっており、実際に香りの被害で退職や休職した人は19%にも達していたとのことでした。



香害で健康被害を訴える人の症状はきわめて深刻です。そこには香りつき製品に含まれる多くの化学物質が関与している可能性があります。例えば、香料や消臭成分を包むマイクロカプセルは洗濯物にくっ付き、室内や屋外に干すことで空気中に放出され、その空気を吸い込むことで化学物質過敏症（CS:Chemical Sensitivity）と呼ばれる健康被害が発症します。また香りつき製品を使用している人が電車などで移動すれば、マイクロカプセルが刺激や体温によって破裂しニオイが飛び散り健康被害も拡大するわけです。



石鹼や洗剤、柔軟剤の生産量は2000年以降に急増しています。その背景には消費者の清潔志向の高まりに乗じて「除菌」「消臭」「香りつき」などの新しい商品価値をつけた製品の開発に拍車がかかったからと言われています。テレビコマーシャルも盛んで、新たなエチケットとして販売戦略に見事に飲み込まれてしまったと言えます。

国内で使用されている香料の90%以上がバラやラベンダー、レモンなど、天然食物の名前が付けられていますが、これらのほとんどが「合成香料」で、天然の香料は希少で高価なためごく僅かしか使用されていません。例えばバラの芳香（香り）成分を分離すると100種類以上の化合物からできています。シトロネロール、ゲラニオール、ロールオキシド、ピネンなどの化合物が使用されています。なんともいえぬ瑞々しいバラの香りと、私たちが思っていたのは多くの芳香剤が混じり合ったものだったのです。

では、どうしてこのような香りを嗅ぐと気分が悪くなるのでしょうか？長年香料を研究されてきた元浜松医科大学の渡部和男博士によると、香料にはアレルギー性、神経毒性、変異原性、発がん性、内分泌かく（環境ホルモン）作用があることが解っており、これまで香料は、香水や化粧品などに使用されてきたため、その毒性については皮膚アレルギーを調べるためのパッチテストなどの皮膚に関する影響ばかりに注目されてきたが、柔軟剤の登場により吸い込みによる吸収毒性の問題が浮上しているが、この分野はまだ十分に解明されていないとのこと。

米国環境保護庁（EPA）は1995年に既に柔軟剤から揮発する化学物質を調べその健康被害を公表しています。例えばジャスミンの香りに使用されるベンジルアセテートはすい臓ガンなどの発がん性や空咳、皮膚に触れると脱脂などの影響があるなど、アレルギー反応や発がん性だけでなく、中枢神経系にも悪影響を及ぼすことが報告されています。また柔軟剤に使用されるマイクロカプセルは洗濯時に80%が下水に流れ河川を汚染することもわかっています。

2019年以降日本でも、香害をなくす運動が各地で広がり始めています。化学物質過敏症（CS）患者とその家族の情報交換会“CS 憩いの仲間”の調査（2019年5月～10月）によれば、全国の21都道府県の議会で香害に関する議題が取り上げられているそうですが、国レベルの動きは遅く2020年4月に国民生活センターが「柔軟仕上げ財のにおいに関する情報提供」をWebサイトで公開しましたが、適正な使用方法の周知に留まっています。市販されている製品から揮発する化学物質についての詳細な調査分析などは行われていないのが現状です。

みなさんももし原因不明の頭痛や吐き気などの症状が出れば一度、香害の可能性を検討してみたいかがででしょうか。まずは一つでも考えられる化学物質の製品など減らしてみることと専門の機関に受診することをおすすめいたします。



【参考資料】

- ・水野玲子：「甘い香りに潜むリスク-香害は香害」, ジャパンマシニスト社, 2020
- ・カナリアからのメッセージ ～化学物質過敏症のない未来へ～（ダイジェスト版）
<https://www.shabon.com/kougai/> ※QRコードでご覧になれます→

